

平成30年度インターシップ研修生受入テーマ

No.	受入可能 部署・センター名	研修 実施 場所	研修課題・テーマ	受入 人数	受入条件				実習期間			研修概要	備考 (特に連絡しておく必要のある事項等)
					区分	専攻学科等	学年	その他	開始日	～ 終了日	日数		
1	地震津波防災研究部門	つくば	室内実験による岩石摩擦特性の調査	1~2	大学・大学院	地球科学、とくに、地質学や地震学に関心があることが望ましい	大学3年以上	基本的なパソコン操作ができることが望ましい	平成30年7月2日	～ 平成30年8月31日	10	回転せん断摩擦試験機を用いて高速で摩擦すべりをする岩石の摩擦特性を調査する。	左記に示す期間の中から10日間
2	火山防災研究部門 火山研究推進センター	つくば	火山活動に関する研究業務	若干名	大学院	地球科学(地球物理学・地質学・岩石学等)や防災学(社会科学含む)など、火山に関することに興味があることが望ましい	修士1年以上	PC操作経験を有すること	平成30年7月中旬	～ 平成31年3月31日	5	前半(2日)では火山研究概要に関する研修を行い、後半(3日)では下記テーマから選択し、実務実習を行う。 ・地震データ解析、傾斜・GPS・SAR解析、分光画像解析、シミュレーション解析・物質分析実験、火山防災リスク実習	実習期間は左記期間内の5日間で応相談
3	気象災害軽減イノベーションセンター	つくば	「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションに関する研究業務	若干名	大学・大学院	気象学、防災学(社会科学含む)など、気象防災に関することに興味があることが望ましい	大学3年以上または高等専門学校専攻科に在籍する学生	基本的なパソコン操作ができることが望ましい	平成30年6月1日	～ 平成31年3月29日	5	・大型実験施設(大型降雨実験施設、雪氷防災実験施設)による実験演習 ・気象データ(観測・実験)解析 ・気象災害予測情報システム実践演習 ・野外フィールドにおける研修	実習期間は左記期間内の1週間で応相談
4	気象災害軽減イノベーションセンター	長岡	「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションに関する研究業務	若干名	大学・大学院	気象学、防災学(社会科学含む)など、気象防災に関することに興味があることが望ましい	大学3年以上または高等専門学校専攻科に在籍する学生	基本的なパソコン操作ができることが望ましい	平成30年6月1日	～ 平成31年3月29日	5	・大型実験施設(大型降雨実験施設、雪氷防災実験施設)による実験演習 ・気象データ(観測・実験)解析 ・気象災害予測情報システム実践演習 ・野外フィールドにおける研修	実習期間は左記期間内の1週間で応相談
5	気象災害軽減イノベーションセンター	新庄	「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションに関する研究業務	若干名	大学・大学院	気象学、防災学(社会科学含む)など、気象防災に関することに興味があることが望ましい	大学3年以上または高等専門学校専攻科に在籍する学生	基本的なパソコン操作ができることが望ましい	平成30年6月1日	～ 平成31年3月29日	5	・大型実験施設(大型降雨実験施設、雪氷防災実験施設)による実験演習 ・気象データ(観測・実験)解析 ・気象災害予測情報システム実践演習 ・野外フィールドにおける研修	実習期間は左記期間内の1週間で応相談